

技術の設計、開発、ガバナンス及び利用に関する日米豪印原則

日米豪印各国（豪州、インド、日本及び米国）は、技術の設計、開発、ガバナンス及び利用に関する方法は、我々が共有する民主的な価値及び普遍的人権の尊重によって形成されるべきであることを確認する。技術は、衡平な成長、気候変動、エネルギー安全保障、パンデミック等の世界最大の共通の課題に取り組み、我々の市民の生活をより安全で、豊かで、実りあるものにすべきである。我々は、相互の信頼と信用に基づき、開かれた、アクセス可能で、安全な技術エコシステムを促進することにコミットし、全ての国が以下の原則を支持することを歓迎する。

● 普遍的な価値の擁護

- 我々は、適応性があり、ダイナミックで、表現の自由及びプライバシーの尊重を含む普遍的な価値に則したマルチステークホルダー・アプローチを通じて開発された、社会に実体的な利益をもたらす重要・新興技術の開発にコミットする。
- 我々は、個人の自律性、主体性及び尊厳を含む我々が共有する価値を促進する技術の設計、開発、ガバナンス及び利用に対するアプローチを支持する。
- 技術の設計、開発、ガバナンス及び利用は、不公正な差別的行為を伴ったり、もたらしたりすることのない、衡平で包摂的なプロセスであるべきである。
- 技術は、権威主義的な監視や抑圧などの悪意ある活動、テロ目的、又は偽情報の流布のために、誤用又は悪用されてはならない。

● 信頼性、健全性及び強靱性の構築

- 信頼性、健全性及び強靱性の上に構築された技術エコシステムは、技術革新を促進する。
- 我々は、協働を可能にし、性別、人種及び民族並びに組織の規模、構造及び年代において多様なイノベーターを歓迎するため、開放性と相互運用性を支持する。
- 我々は、技術の供給者、ベンダー及び配給者が、安全なシステムを構築及び維持するとともに、信頼でき、透明性があり、責任ある行動をとることを期待する。技術の開発者も、強固な安全性とセキュリティの慣行が技術開発プロセスの一部となるように、安全性とセキュリティ・バイ・デザインのアプローチを組み込むべきである。技術の不正移転又は窃取は、世界の技術開発のまさに根幹をなす部分を損なう共通の課題であり、対処されるべきである。
- ハードウェア、ソフトウェア及びサービスの、強靱で、多様性があり、安

全な技術サプライチェーンは、我々が共有する国益にとって不可欠である。我々の価値を共有する同盟国及びパートナーとのサプライチェーンに関する緊密な協力は、我々の安全保障と繁栄を強化し、国際的な災害及び緊急事態への対応能力を強化する。

● **科学技術のフロンティアを推進させるための健全な競争と国際的な協働の促進**

- 公正で開かれた市場は、技術革新と包摂的な繁栄の礎である。
- 我々は、透明性のある形で与えられた国のインセンティブによる支援措置を含め、最良の技術的解決策が成功するような、自由で公正な市場競争を支持する。
- 我々は、スタートアップを含む新規市場参入者を歓迎し、技術革新、強靱性及び持続可能性を高める、競争力のある技術エコシステムの発展を奨励する。
- 我々は、相互運用性、互換性及び包摂性を促進する国際標準開発に対する、産業界主導の、コンセンサスに基づく、マルチステークホルダー・アプローチの重要性を認識し、確認する。
- 我々は、研究セキュリティを保護しつつ、研究事業及びより優れた技術革新のために、データ及び知識の共有に対する障壁を削減することにコミットする。
- 我々はまた、科学技術の協働を強化するため、研究者の交流及び高度人材の移動を促進することにコミットする。
- 我々は、可能な範囲で共同プロジェクト及び共同人材育成を含めるため、科学に係る基礎的な原則に則し、我々の共通の価値を促進し、労働力の多様性及び教育を促進する共通の研究開発アジェンダを作成することにコミットする。
- 我々は共に、安全保障及び強靱性、持続可能性、経済的包摂性、並びに保健及び福祉といった我々の共有する多くの目的に取り組むため、将来の動向を注視し、技術を進歩させる機会を活用することで、世界経済と技術革新プロセスの変化に対応し続ける。
- 我々は、経済発展を加速させ、我々の全ての市民のニーズに応える技術開発を促進することにコミットする。

我々は、全ての国が、これらの原則に導かれ、技術に関するこの共通のビジョンを追求する我々の取組に参加することを歓迎する。